

学校図書館支援員の活動について (学力向上推進事業)

二戸市では、児童生徒がより活用しやすい図書館を目指すため、学校図書館支援員が小中学校を巡回訪問します。

具体的な活動として、蔵書の管理、環境整備（配架）、掲示作業（図書館の飾り付け）、広報、学校図書館だよりの作成補助、読み聞かせ活動などを行うため、各学校月3日程度訪問し、図書館担当教諭の支援を行います。

1日4時間程度、図書館の開放時間や関係の授業など、学校のニーズに合わせて支援を行います。

二戸市で取り組んでいる“学力向上”を推進するためには、
読書活動は欠かすことはできません

～ 学校図書館支援員の巡回訪問による効果 ～

- 読み聞かせやブックトークを行うことで、児童生徒の本への興味が高まる。
- 図書館の環境が整えられることで、魅力ある図書館に変わり児童生徒の目に触れやすくなる。
- 学校図書館担当教諭の負担軽減が図られる。

